

FSC® ジャパンオンラインセミナー
責任ある森林管理のための勉強会 第20回

林業への気候変動影響と適応策

2025年10月16日(木) 13:30-15:00

気候変動は、地球環境や社会経済に深刻な影響をもたらすことが懸念されています。自然環境に大きく依存する林業も、その影響を免れることはできません。気温はどこまで上昇するのか、気候パターンはどのように変わり、自然災害のリスクはどうなるのでしょうか。そして、それは森林や林業にどのような影響を及ぼし、私たちはどのように備え、対処すべきなのでしょう。

本講演では、長年にわたり第一線で気候変動の影響と適応策を研究されてきた平田泰雅氏をお迎えし、気候シナリオに基づいて作成された最新の予測モデルをもとに、人工林の成長量への影響や山地災害リスクの将来像をご紹介します。さらに、気候変動下での成長量予測・山地災害リスク・経済性などを総合的に考慮した適応策評価モデルによって導き出された結果についても解説いただきます。

お申し込み方法

以下のURL、あるいは右のQRコードからお申し込みください。

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/6NY6rhbERBiBTbzPWRmNpw>

- ・ どなたでもご参加いただけます。
- ・ 登録後、ミーティング参加に関する情報の確認メールが届きます。
- ・ 定員(500名)に達し次第お申し込みを締め切らせていただきますのでご了承ください。
- ・ いただいた個人情報は、参加者を把握し、セミナーをより良いものにするために使用させていただきます。
- ・ セミナーの資料・録画は後日公開いたします。



講師 平田 泰雅 氏

森林総合研究所 研究専門員



1992年森林総合研究所入所、2015年同温暖化対応推進拠点長、2016年同研究ディレクター（気候変動研究担当）兼同REDDプラス研究開発センター長（2020年REDDプラス・海外森林防災研究開発センターに改称）として、アジア太平洋地域や南米の国々を対象にリモートセンシングを用いてREDDプラスや気候変動適応の研究を行ってきた。2023年より現職。気候変動に関連する環境省等の委員を多数歴任。2019年IPCC改良温室効果ガスインベントリガイドライン主執筆者。農学博士（東京大学）。

「責任ある森林管理のための勉強会」は、FM認証取得者をはじめとする幅広いステークホルダーの皆様へ責任ある森林管理に関する有用な情報を提供するため、様々なトピックで開催しているものです。

お問い合わせ・ご意見は担当：FSCジャパン 指針・規格マネージャー 三柴ちさと（c.mishiba@jp.fsc.org）までご連絡ください。